

大学名 茨城大学

第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題 全学での主体的・横断的な学修活動の促進が新しい教育組織の構想へと発展

新しい学び① オフキャンパスプログラムの期間を全学導入 初年度は500人以上が活動



茨城大学では学部3年次の第3クォーターを「**iOP (internship Off-campus Program) クォーター**」とし、原則的に必修科目を開講せず、海外研修やインターンシップ、サービ斯拉ーニング、発展学修など**学外を中心とした教育課程内外の主体的な学修活動**に取り組む期間と定めています。初年度(2019年度)は531人が計719件の活動を行いました。「第1回iOP-AWARD」では、ニュージーランドで独自の調査活動を行った農学部の学生が最優秀賞を受賞しました。

本学ではiOPを、**ディプロマ・ポリシーで掲げる5つの茨城大学型基盤学力を高度に統合する活動**として位置づけ、学生たちが入学段階からiOPでの活動を計画できるように、授業等での意識づけや実験の場(iOPラボ)の提供などの支援を行っています。



新しい学び② アントレプレナーシップ教育プログラム 入門講座は180人以上受講

2021年度からは**茨城大学アントレプレナーシップ教育プログラム**をスタート。国内外で活躍するゲストが講師を務める入門講義は**約180人が受講**しました。果敢に挑戦する起業家精神に加え、企業等の中での企画提案につながる社内起業家精神を学び、ビジネスプランコンテスト等の実践的な学びへの参加者、入賞者も登場しています。また、**学部を横断した学生同士の交流や共同での学修活動**も提供しています。



専門分野の横断的な学び・交流と、リアルな課題の現場での活動が学生の成長と持続可能な地域・社会の実現につながる確信！

新しい学びへのさらなる挑戦！

分野横断&コーオプ教育が特徴の教育組織を新設

学部等関係課程として入学定員40名の「地域未来共創学環(仮称)」を2024年度に新設する構想を進めています。この学環は**既存学部の資源を活用した分野横断的な学び**と学生が**有給で企業・自治体等で働きながら学ぶ「コーオプ教育」**が特徴です。新たな学び方を支える教育支援の専門職・UEA (University Education Administrator) も採用します。

※構想中であり、変更が生じる可能性があります。名称は仮称、開設時期、入学定員は予定です。

実践を通じて大学の新しい学びの形を追究・発信！